

図1-1、江戸時代の水戸藩の江戸参府の邸宅の
 二階の内部の様子。二階の部屋は、二階の部屋は、
 二階の部屋は、二階の部屋は、二階の部屋は、

二階の部屋は、二階の部屋は、二階の部屋は、

二階の部屋は、二階の部屋は、二階の部屋は、

二階の部屋は、二階の部屋は、二階の部屋は、

二階の部屋は、二階の部屋は、二階の部屋は、

二階の部屋は、二階の部屋は、二階の部屋は、

二階の部屋は、二階の部屋は、二階の部屋は、

二階の部屋は、二階の部屋は、二階の部屋は、

二階の部屋は、二階の部屋は、二階の部屋は、

二階の部屋は、二階の部屋は、二階の部屋は、

二階の部屋は、二階の部屋は、二階の部屋は、

二階の部屋は、二階の部屋は、二階の部屋は、

二階の部屋は、二階の部屋は、二階の部屋は、

二階の部屋は、二階の部屋は、二階の部屋は、

二階の部屋は、二階の部屋は、二階の部屋は、

二階の部屋は、二階の部屋は、二階の部屋は、

二階の部屋は、二階の部屋は、二階の部屋は、

二階の部屋は、二階の部屋は、二階の部屋は、



図1-1 『水戸藩邸宅』江戸参府邸宅の内部の様子

(水戸藩邸宅『水戸藩邸宅』(文芸春秋、1982年) 21)



図1-2 江戸参府邸宅 (江戸参府邸宅)

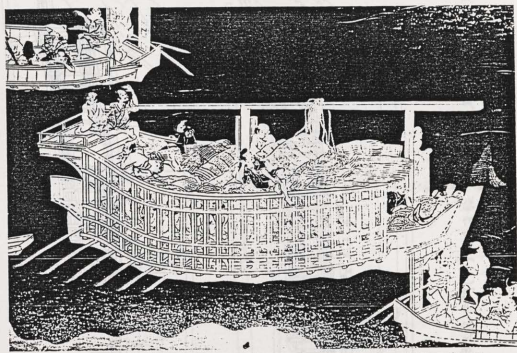


図1-1 『最良回廊図』に描かれた近世初期の舟
(石井隆治『国説和栞史』(至誠堂, 1983年)より)

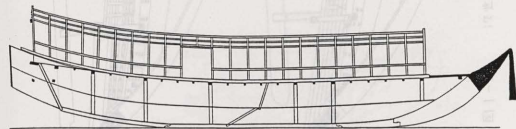


図1-2 42丁主岡船 (川内市・櫛木辰殿)

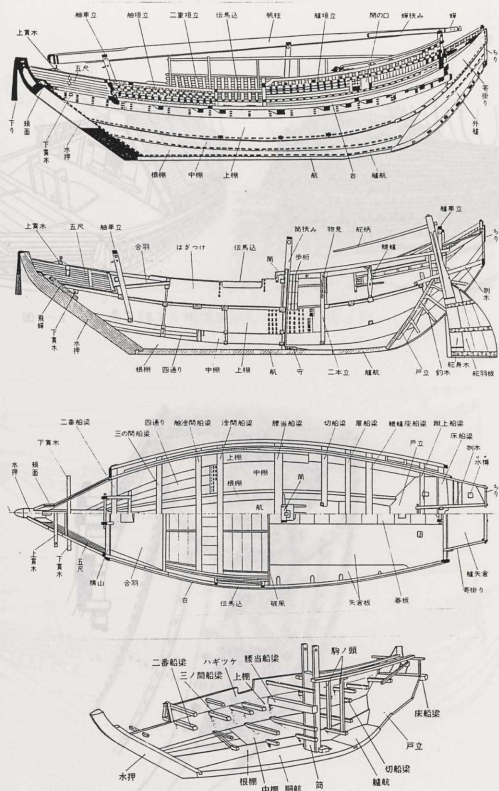
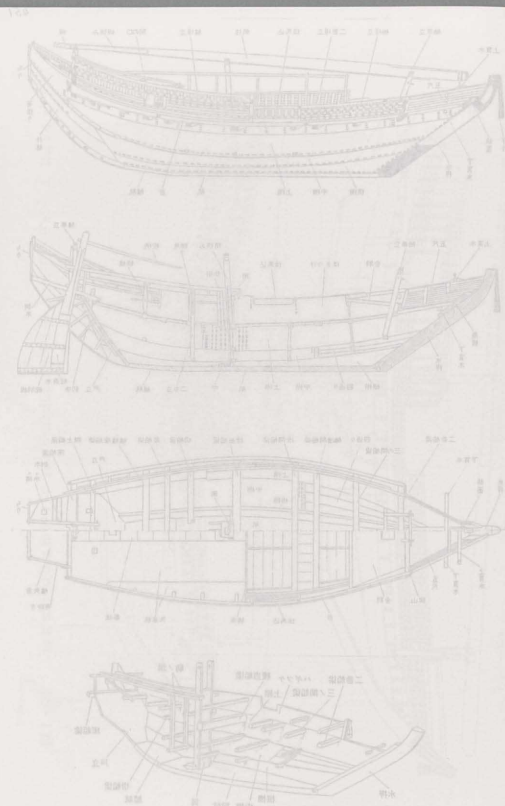


図1-4 奇文船の船体構造（石井謙治『図説帆船史話』）

及び『日本の船—文永船から洋式帆船まで—』＜日本海事科学振興財団、1977

 $\frac{4}{5} > \frac{1}{2}$)



○ 龍舟の構造（前部）と舟の各部の名称（舟の各部の名称）

（舟の各部の名称）

（舟の各部の名称）

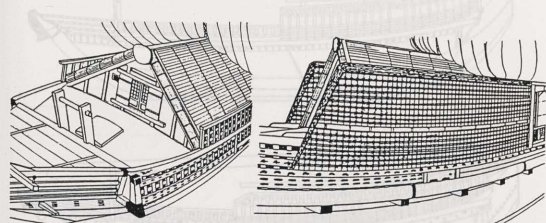


図1-5 舟（左）と舟（右）（『日本の舟』より）

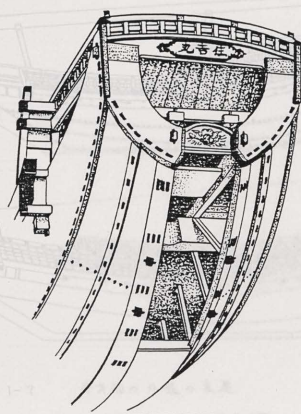
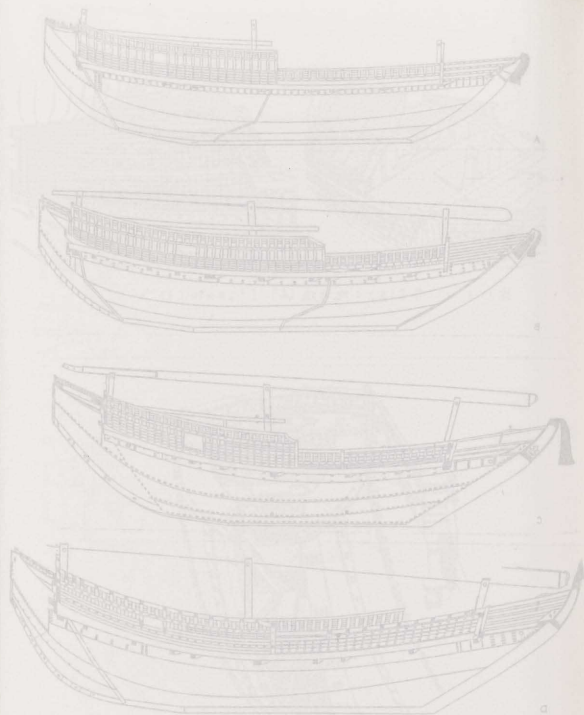


図1-6 舟（舟）

舟（舟）



五五の船の図式 5-1 図

図1-8 1 図2-8 2 図3-8 3 図4-8 4

図5-8 5 図6-8 6 図7-8 7 図8-8 8

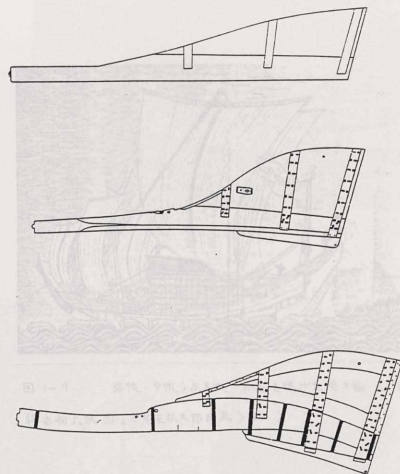


図1-8 舟の船の図式

上 17世紀末期 中 19世紀初期 下 19世紀中期

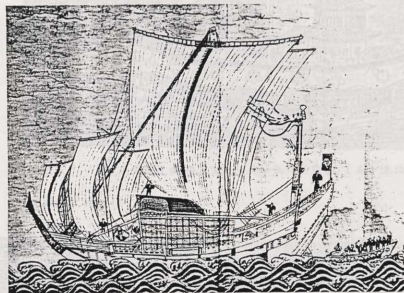
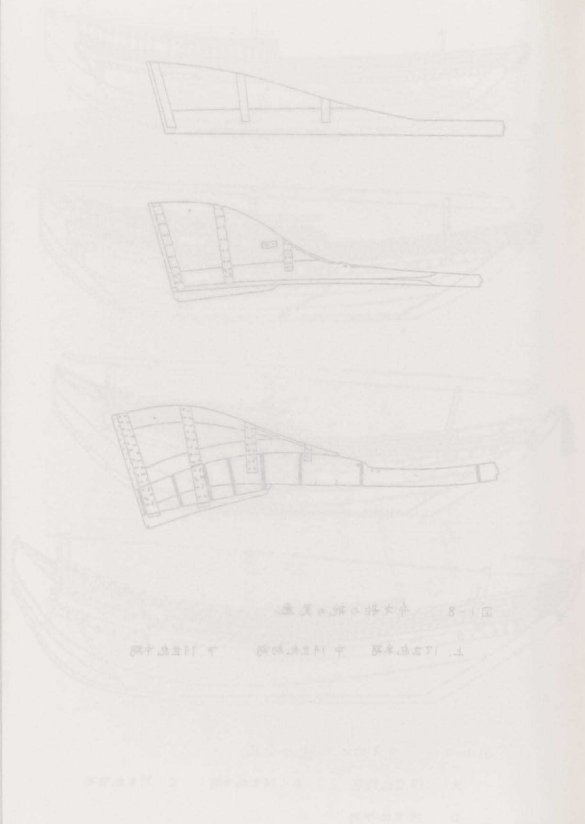


图 1-9 弥帆·中帆·点马帆·末帆 主桅竹大升才船 (『新
繪巻船式図』・〈角渡松太郎の歌〉より)



图 1-10 船式図・主桅竹大升才船



图2-1 南宋时期所绘之“海客”船（见《海客图》）

（见《海客图》）

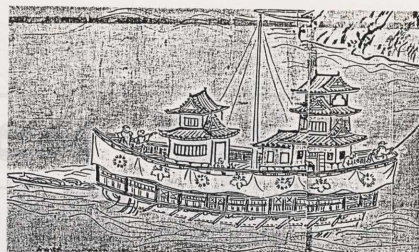


图2-1 『肥前名護屋城図屏風』に描かれた海客船（石井謙治『図説船政史』より）

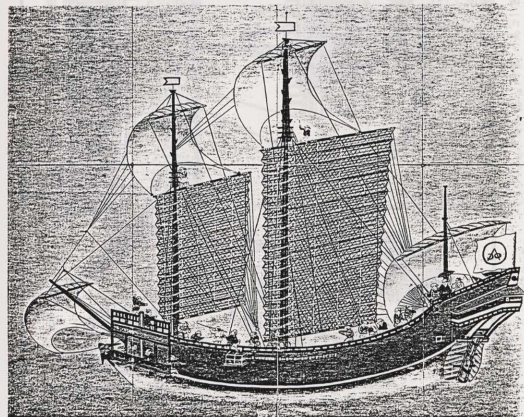


图2-2 朱印船（内前）

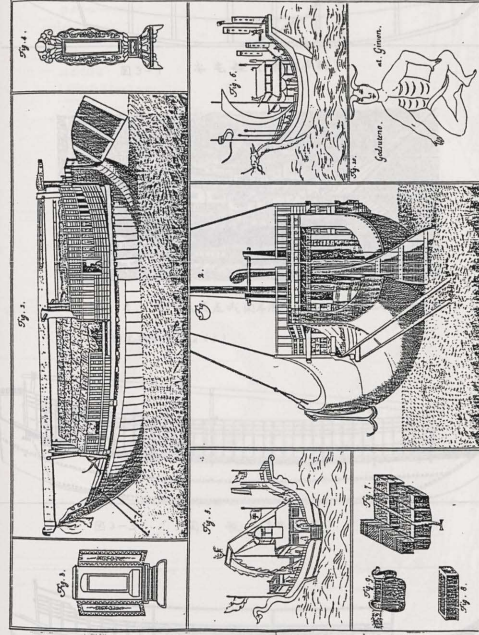


図2-3 ケンパールの日本記の所載の表21図

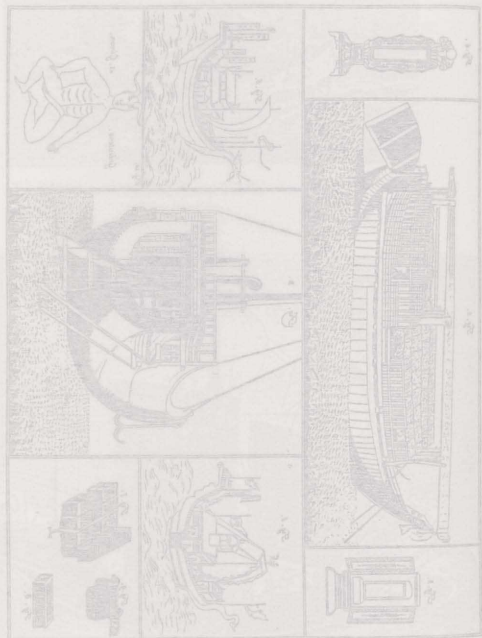


图 3-1 舟车图（东京大学藏）

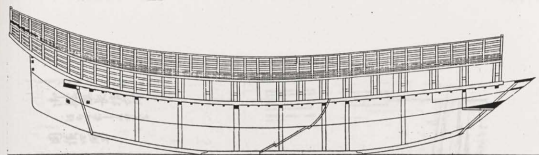


图 3-1 舟车（东京大学藏）



图 3-2 『肥前名護屋城国居图』に描かれた舟车（右半部）
（『国史系図』より）

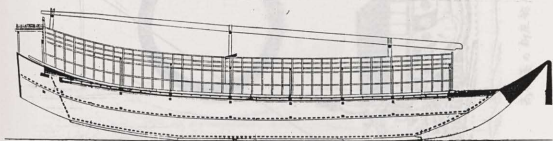


图 3-3 舟车（东京大学藏）

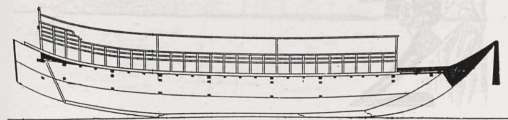


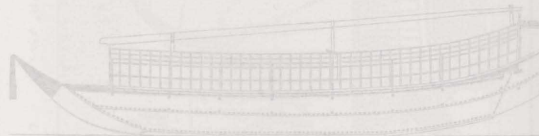
图 3-4 舟车（东京大学藏）



(海軍式目録) 海軍艦 1-10図



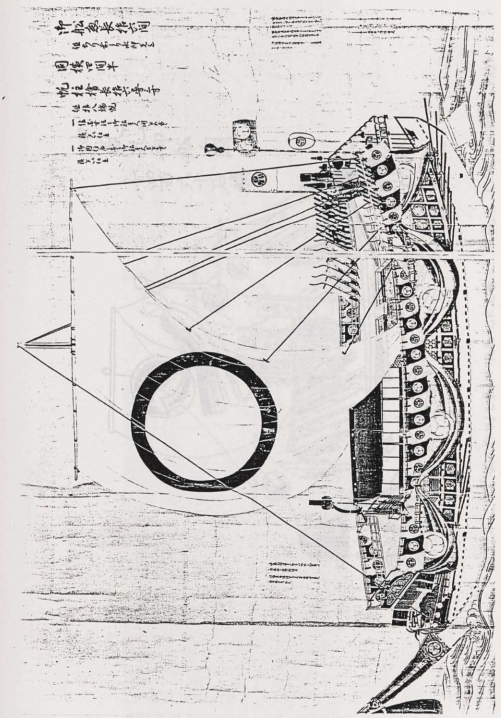
(海軍式目録) 海軍艦 2-10図



(海軍式目録) 海軍艦 3-10図



(海軍式目録) 海軍艦 4-10図



(海軍式目録) 海軍艦 5-10図

(海軍式目録) 海軍艦 6-10図

(海軍式目録) 海軍艦 7-10図

(海軍式目録) 海軍艦 8-10図

(海軍式目録) 海軍艦 9-10図

(海軍式目録) 海軍艦 10-10図



（四）「義経の舟」の「舟中大呼敵図」の舟中大呼敵図（舟中大呼敵図）

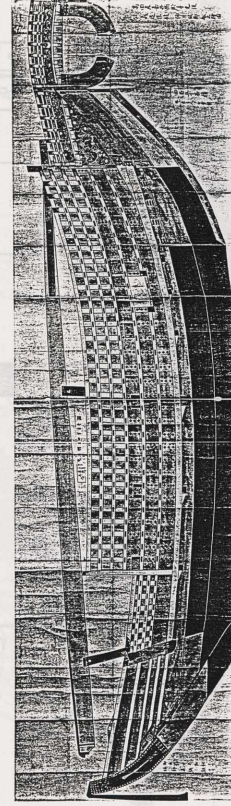


図3-7 文化5年に高田直義が「舟中大呼敵図」を設計し、大船用敵（「義経の舟」）の舟中大呼敵図（舟中大呼敵図）
毎日新聞社、1979年（4月）

東京市街の眺望（1911年）

図3-1

東京市街の眺望（1911年）（東京市街の眺望）

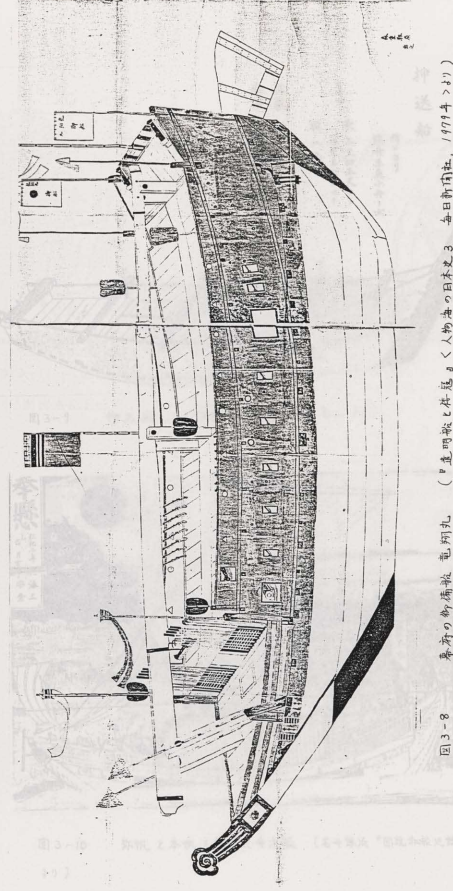


図3-8 東京市街の眺望（1911年）（東京市街の眺望）

押送船

所ヨリ
 船舟生小舟女
 上口 長 三丈四尺二寸
 四丈五尺二寸
 横 八尺
 武蔵 伊豆相模
 安房 上野近海舟上有之

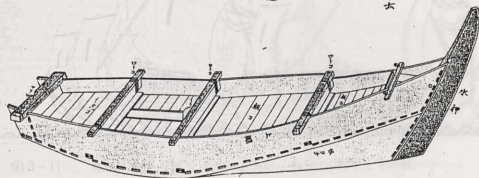


图3-9 押送船 (『東京市史稿』卷三 第三十二)

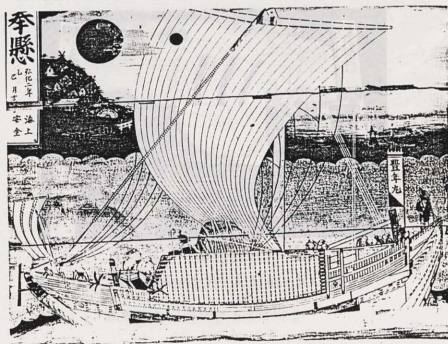


图3-10 弥帆と本帆を揚げたる舟 (石井謙次『国説和歌史』より)



石叻大帆船の帆柱・帆柱座・帆柱座の図面（1-5図）

（『石叻大帆船の帆柱・帆柱座の図面』）



石叻大帆船の帆柱・帆柱座の図面（2-5図）

（『石叻大帆船の帆柱・帆柱座の図面』）

石叻大帆船の帆柱・帆柱座の図面（3-5図）

Plan d'ensemble

Echelle de 1/300

Surface de voilure

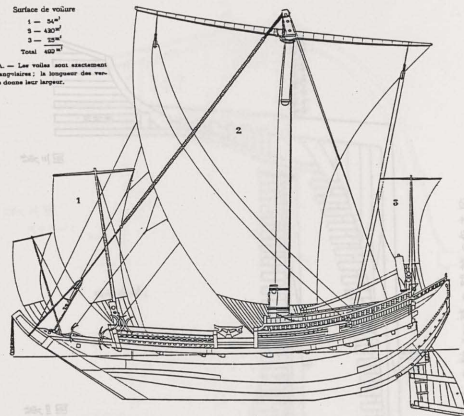
1 - 24"

2 - 420"

3 - 35"

Total 480"

NOTA. - Les voiles sont exactement rectangulaires; la longueur des verges donne leur largeur.



Coupe longitudinale de l'arrière

montrant les différentes positions et la tenue du gouvernail

Echelle de 1/100

図3-13 孫帆・中帆・末帆・龍帆を掲げた明政21年の1500石

横舟牙板（F.E. Paris, Souvenirs de Hanwe, vol. 2, p. 47）

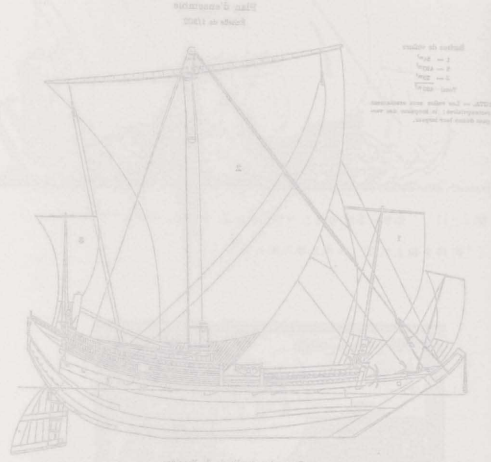
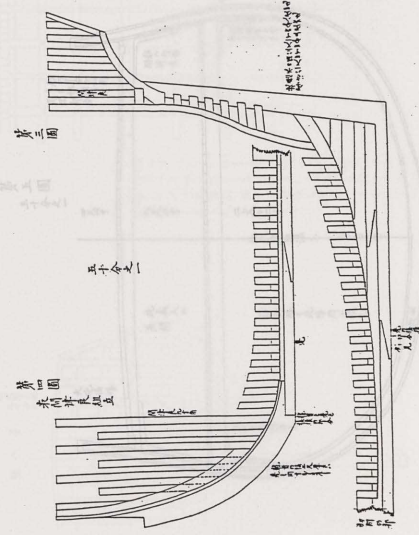


図4-17 帆船「セント・ルイス」の模型（1700年）

（上）「セント・ルイス」の模型（1700年）



帆船「セント・ルイス」の模型

図4-1 「セント・ルイス」の模型の船体の構造

図4-2 「セント・ルイス」の模型の船体の構造

圖 4-1 『五輪物語』の五輪の形と五輪の形と五輪の形



五輪の形と五輪の形と五輪の形

第五圖
二文の字

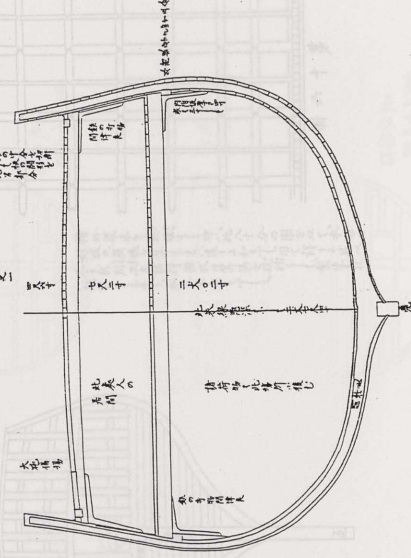
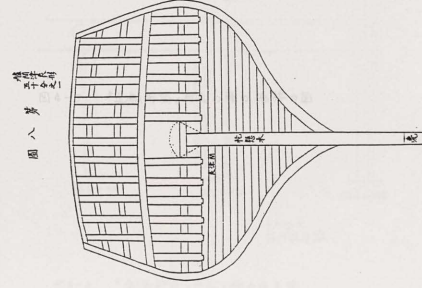
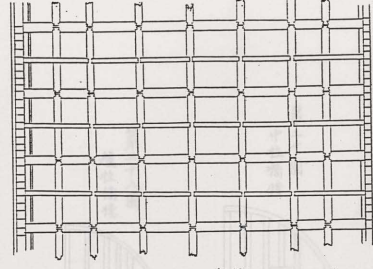


圖 4-2 『五輪物語』の五輪の形と五輪の形



圖八



圖六十第



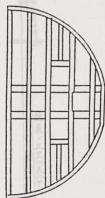
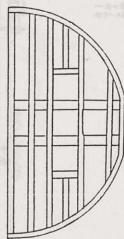
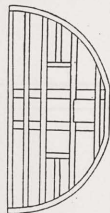
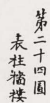
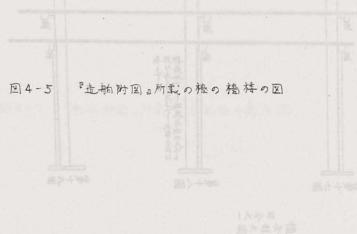


図4-5 造船附図に所載の檣の檣桁の図



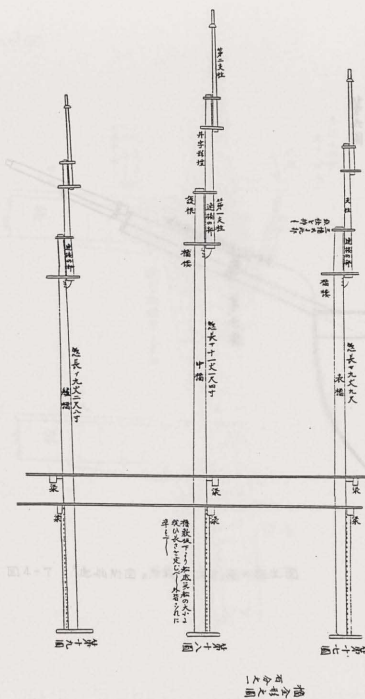
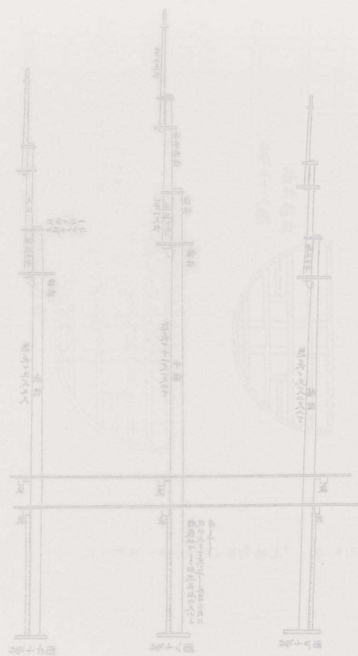


図4-6 7号定軸附図、所載の極の組立図



図中A1
船中横切面

図上船の横切面。図中横切面 4-7

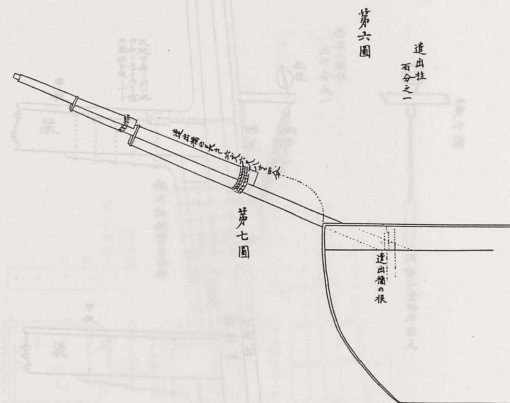


図4-7 造船附図 所載の正出船の組立図

図4-8 造船附図 所載の正出船の組立図

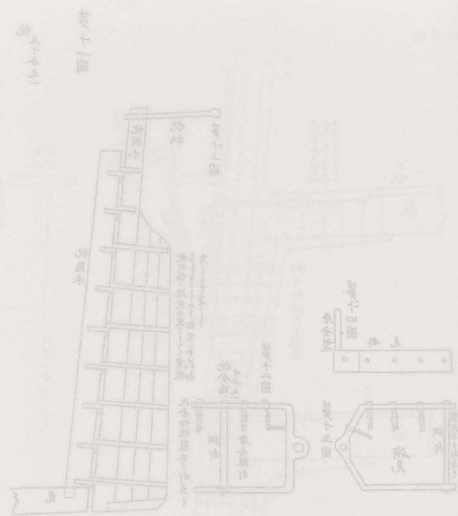


図4-10 『五橋集』所載の橋の復元及び井字形埋の図

播之橋梁及迎接器具
五十分之一

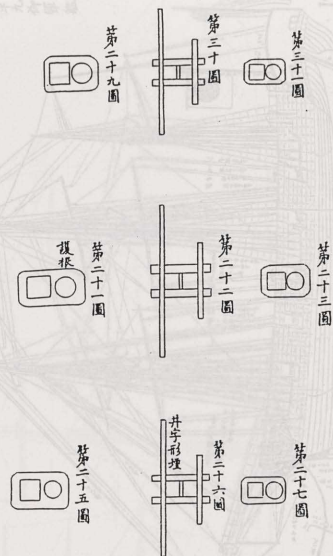


図4-10 『五橋集』所載の橋の復元及び井字形埋の図

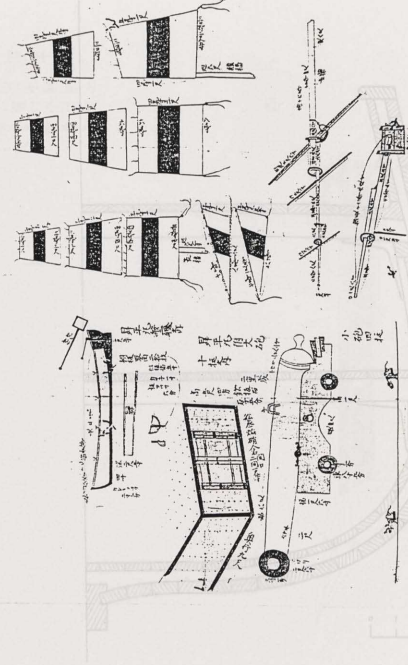
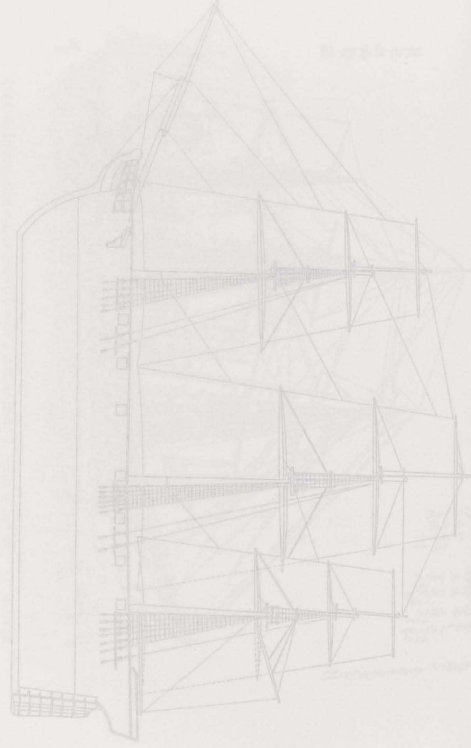
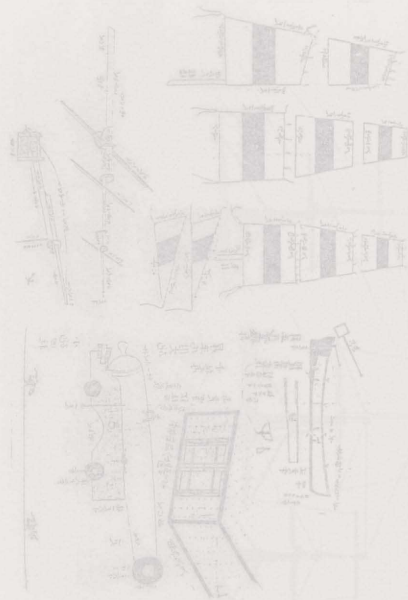


図 4-13 船の構造図 (『船舶と汽船』)



船体の
構造
図
解

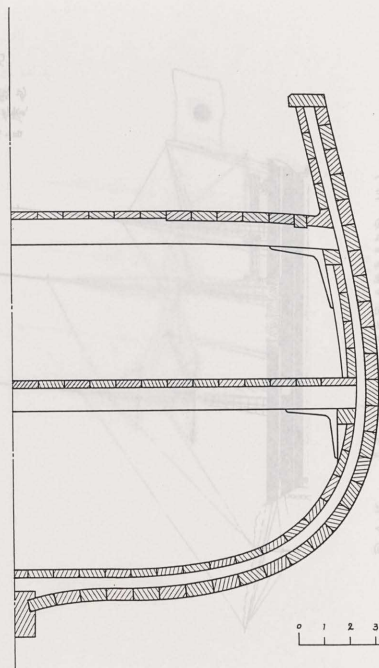


図 4-14 耳干丸の中央断面の概略図

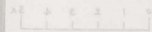


图 4-15 日本海军中台试水艇 利-台图

利-台图

此图：本朝海军
部：關川作治
德田平品
德田平品

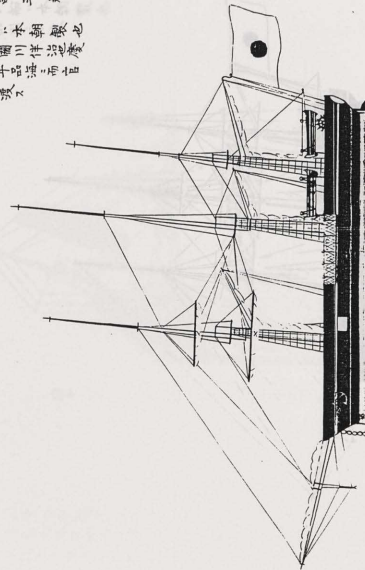


图 4-15 利-台图 (日本海军中台试水艇。利-台图)

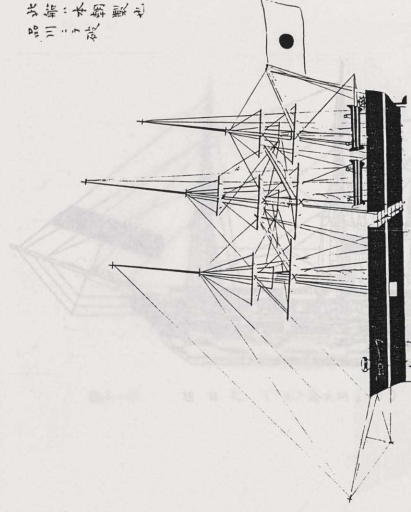
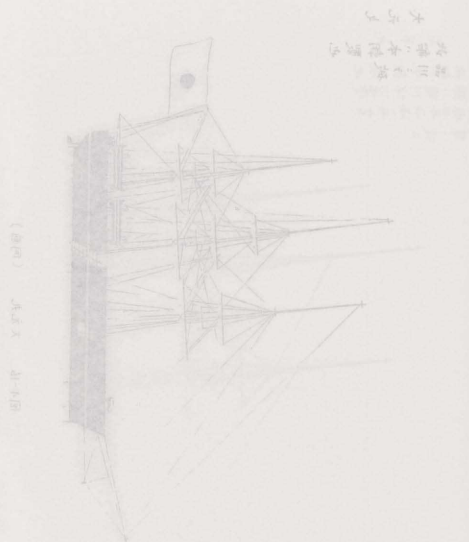


图4-16 大元丸 (同前)



（前） 大正 日本郵船

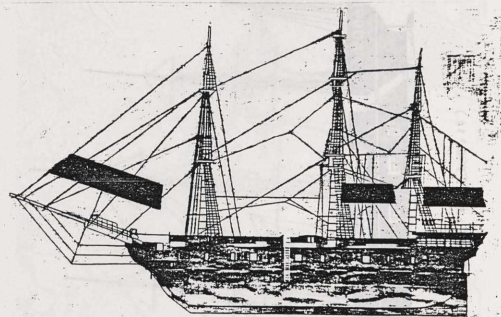
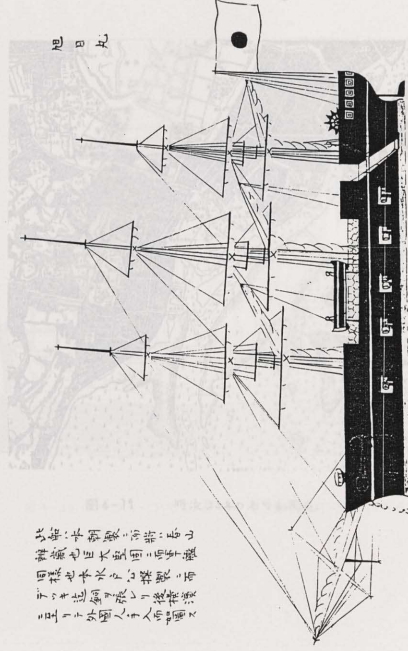


図4-17 旭日丸（『水戸藩史料』より）



(1543年) 三桅帆船 (1543年) 三桅帆船



旭日丸

图 4-19 旭日丸 (1853年) (1853年)

此图：三桅帆船：1543年：1543年
 帆船：三桅帆船：1543年：1543年
 帆船：三桅帆船：1543年：1543年
 帆船：三桅帆船：1543年：1543年
 帆船：三桅帆船：1543年：1543年



五箇浦の海図 附一之圖

スルー形船畧圖
長九間一尺 深四尺二寸
肩中一丈三尺

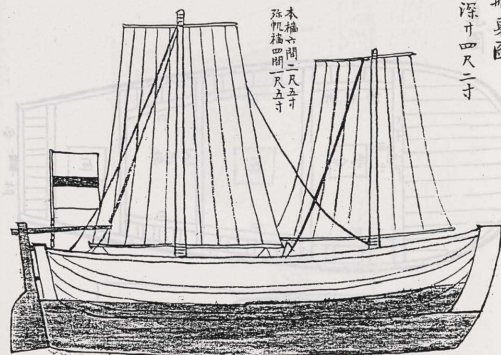


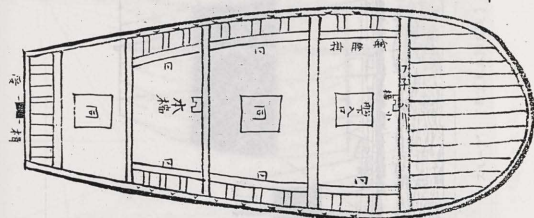
図4-20 スルー形船 蒼牟丸 (『房総御備場御用一件手扣』43)

舟中至三ノ
月六日一ノ
スル一ノ
船中



（舟中至三ノ月六日一ノスル一ノ船中）

同平見図



船長一丈二尺

図4-21 スル一ノ船中至三ノ月六日一ノスル一ノ船中

四時時圖



〔西門〕 即 西門公武東海船行代一六五

〔本一六五〕

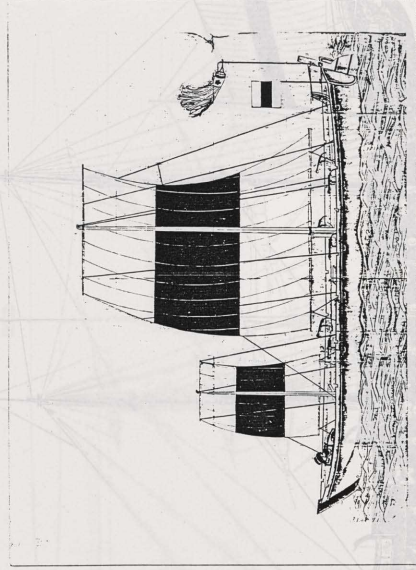


圖 4-22 スルー・ブ (南道流太郎氏蔵)

圖 4-23 見取丸（黒船と茂松丸より）

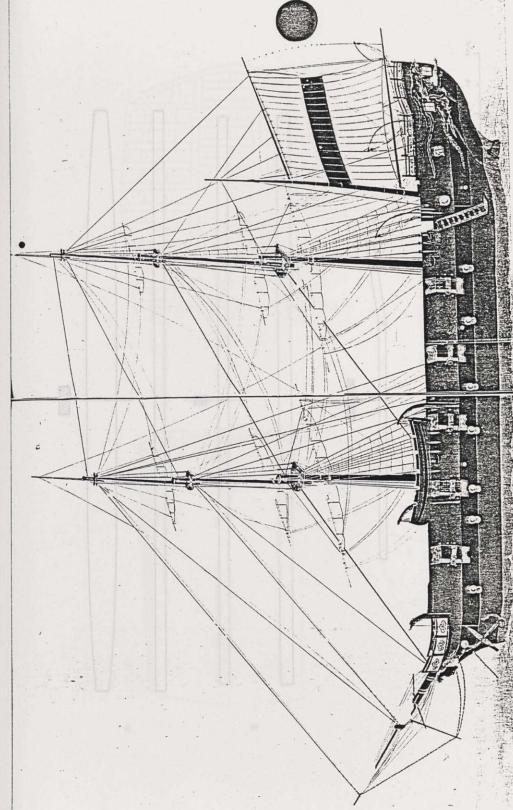


圖 4-23 見取丸（黒船と茂松丸より）

（黒船と茂松丸より）

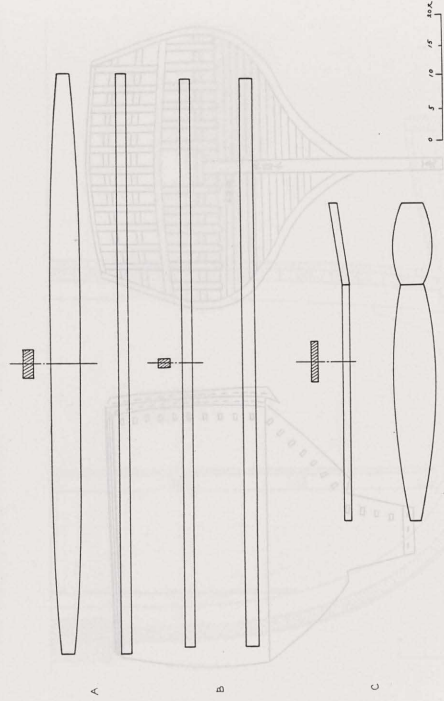
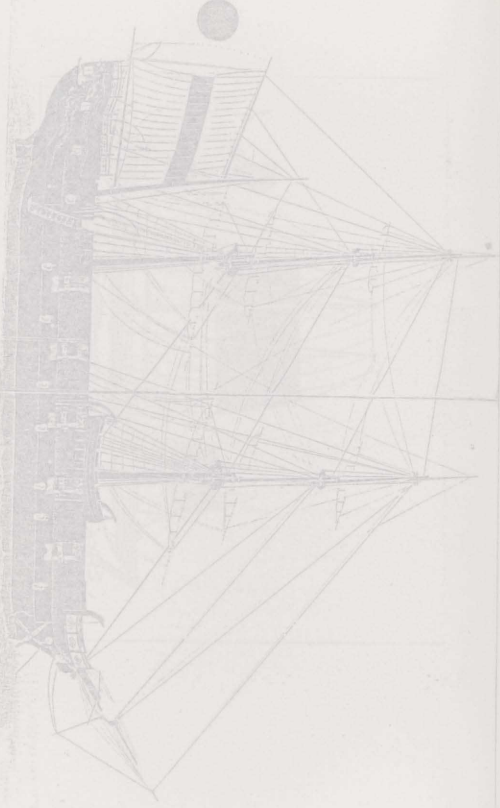
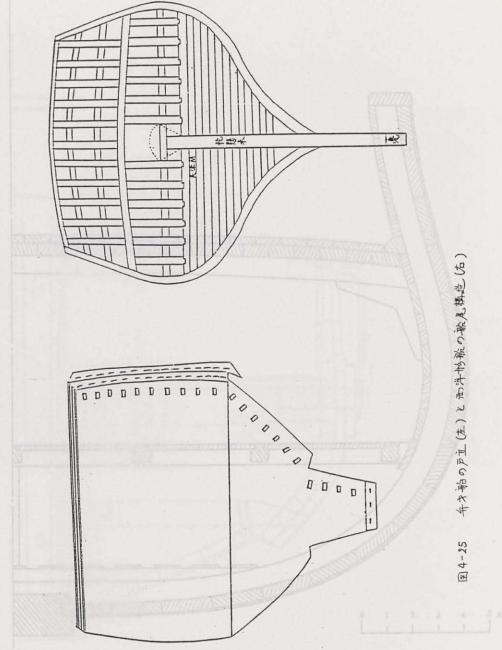
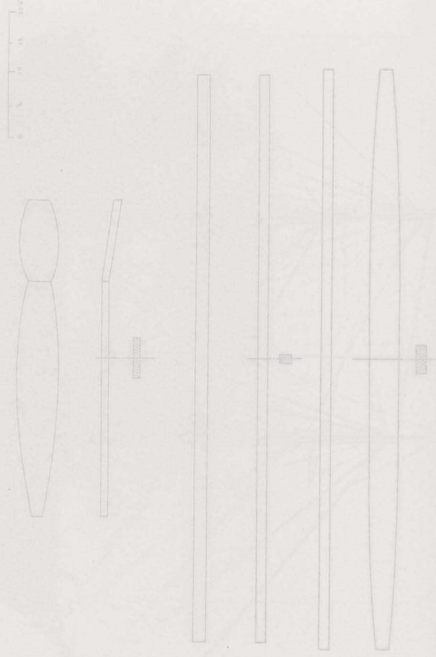


図4-24 各種の船展覧の形状
A 船展覧の電着 B 原案の電着 C 1500石積舟の船の航 (上 断面図 中 平面図 下 側面図)



舟の構造 (舟の構造) (舟の構造) (舟の構造) (舟の構造)

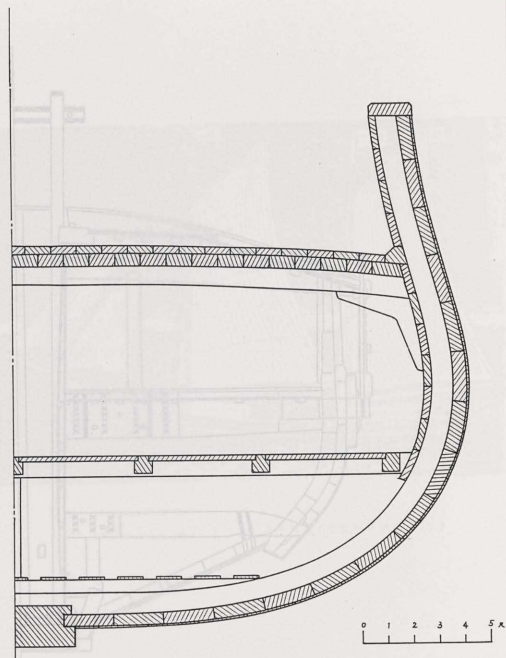
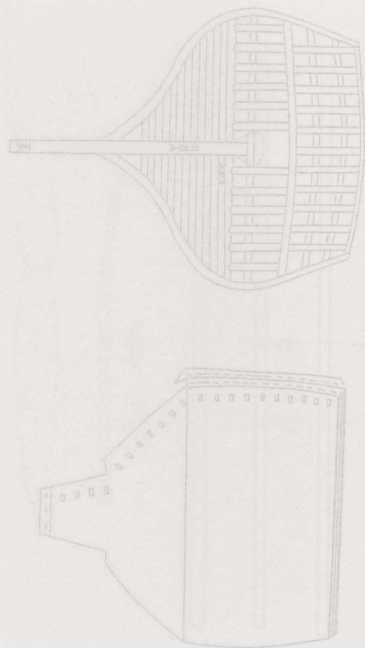


図4-26 舟の中央断面の構造図

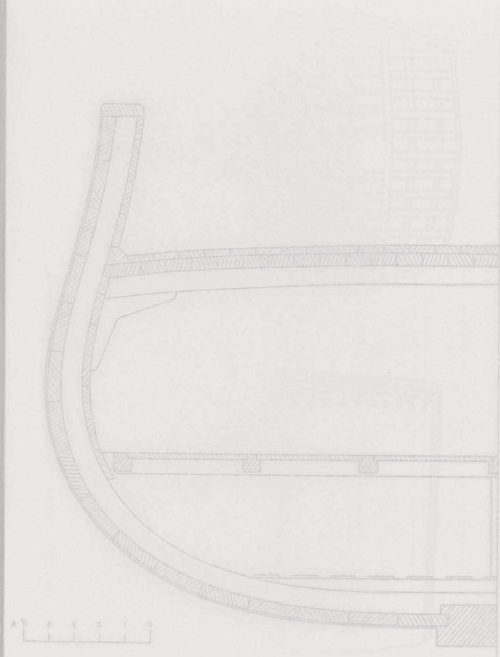


図4-26 舟の断面図（『大坂市史』より）

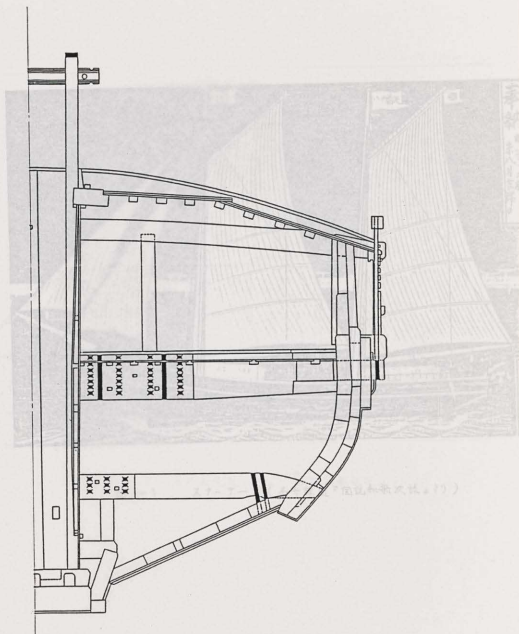
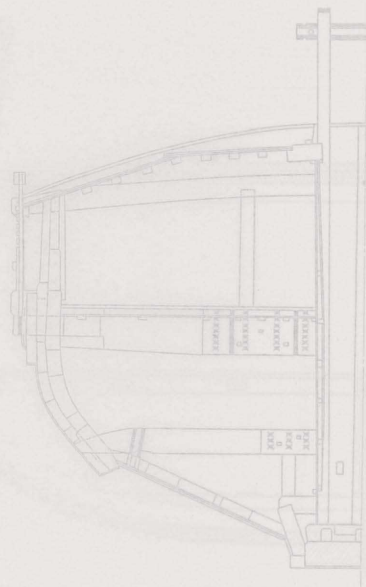


図4-27 舟の断面図（『大坂市史』より）



(14) 船体構造図 (右舷側面図)

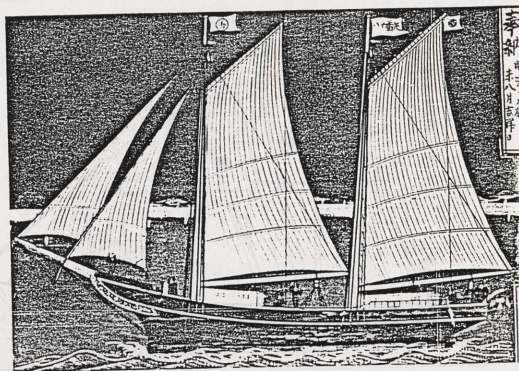


図5-1 スクーター (右舷側面図)

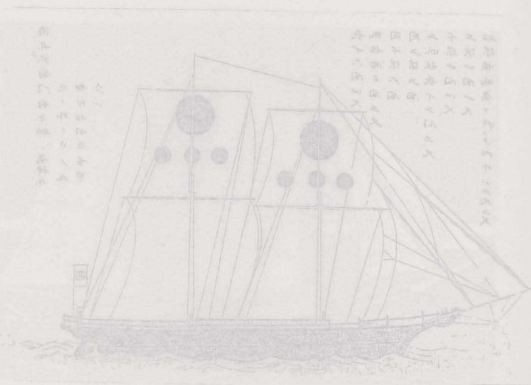


図5-2 江戸時代の船（イ） 大津島の船（イ） 3-2倍

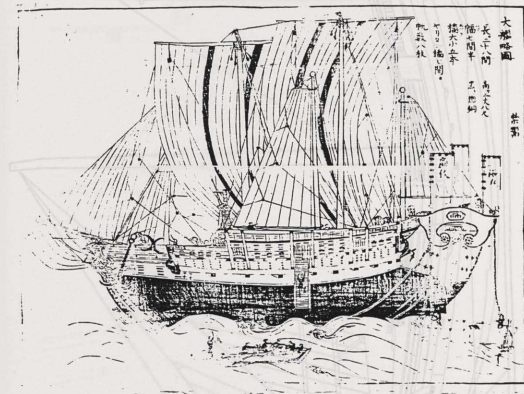


図5-3 秋田藩の船（イ）



日本海軍の戦艦 第2図

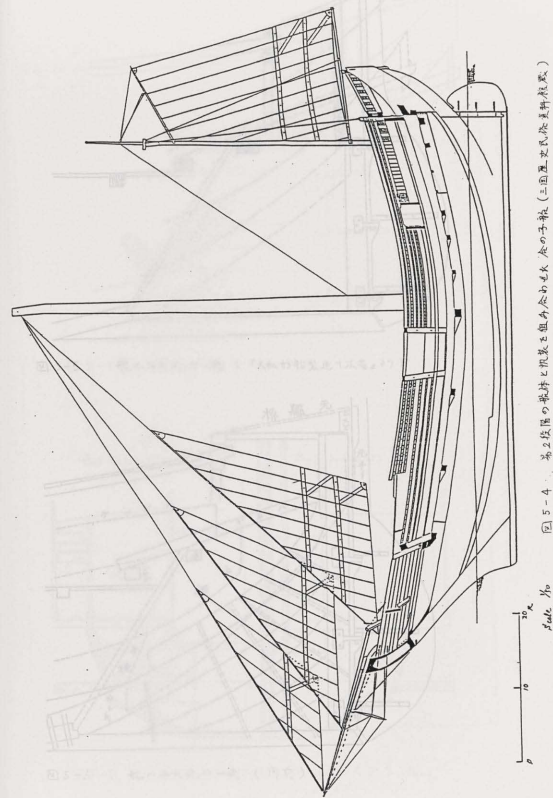
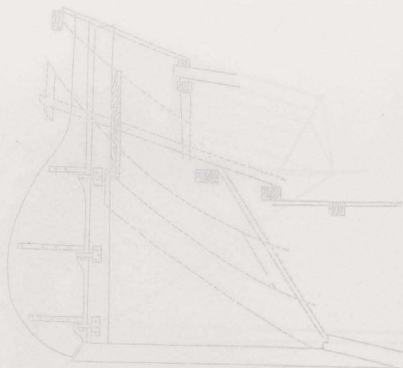
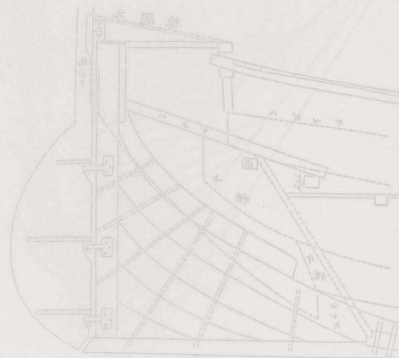


図 5-4 第2図の戦艦と戦艦の艦首と艦尾の形状 (三國海軍の戦艦)



（左側） 第一の海軍大砲の位置（右側） 第二の海軍大砲の位置



（左側） 第一の海軍大砲の位置（右側） 第二の海軍大砲の位置

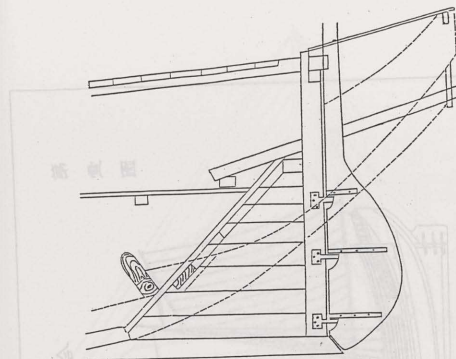


図5-7 船の海軍大砲の位置（内側）

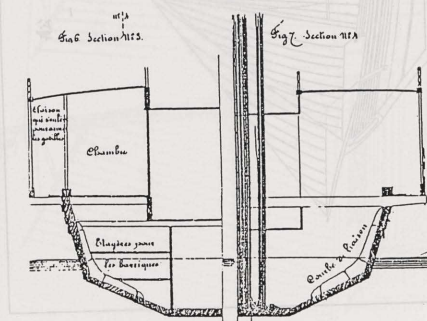
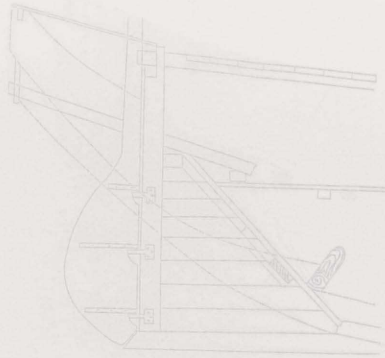
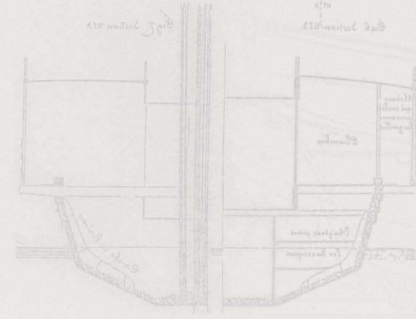


図5-8 船の海軍大砲の位置（F. E. Pans,

Souvenirs de Marine, vol. 2 p. 1)



合子ノ船

一ノ六十六百

船體圖

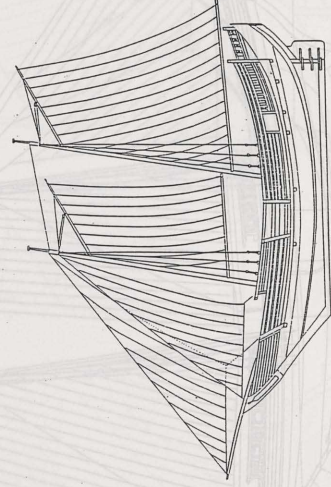
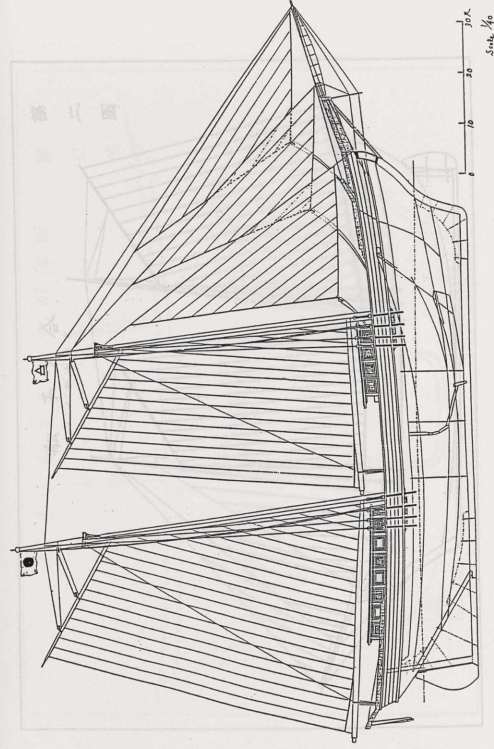
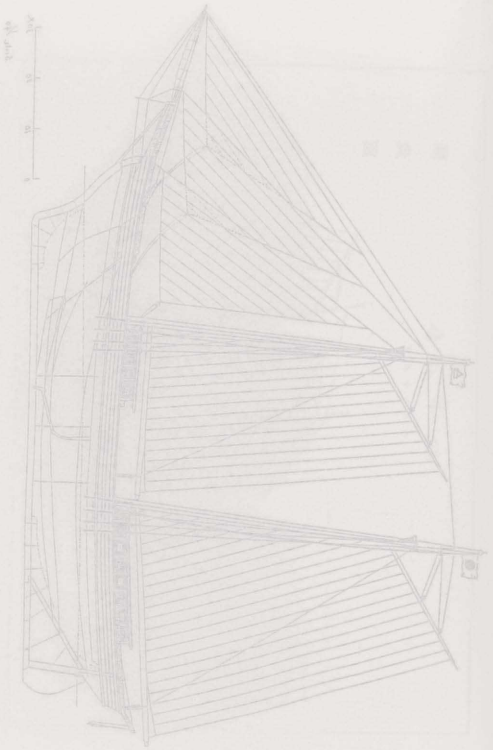


図5-9 某工務所の設計による船体の断面図（船尾より船首へ向かって）
（工務所設計。全長105m。幅23.4m。吃水4.5m）



可5-10 第3巻扉の明箋と縁起を組み会わせたスクナー艇の会の子組
(野田 伊藤成寛)

図2-10 松子令の船体と帆の構造（松子令の船体と帆の構造）



第二圖

松子令
一、五、十、廿、五

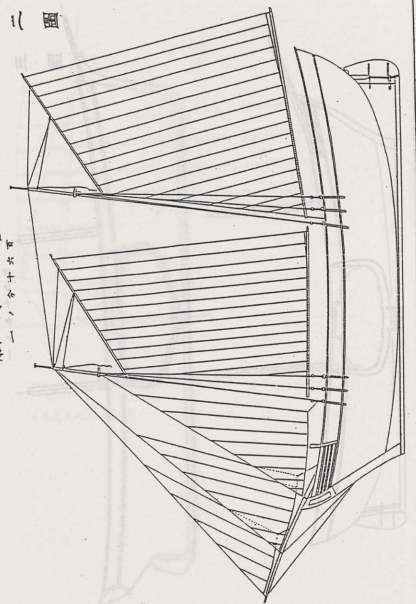
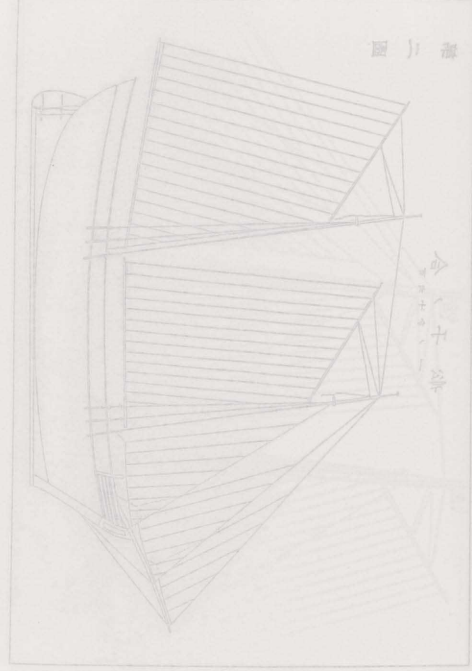


図5-11 松子令の船体と帆の構造（松子令の船体と帆の構造）
手帆、わ）



舟船の形(下) 舟船の形(下) 舟船の形(下) 舟船の形(下) 舟船の形(下)

舟船の形(下)

第三圖

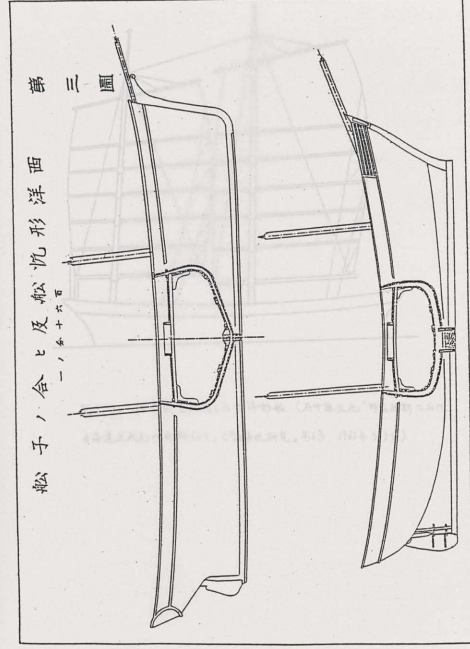


図5-12 舟船の形(上)と舟船の形(下)の比較 (舟船)

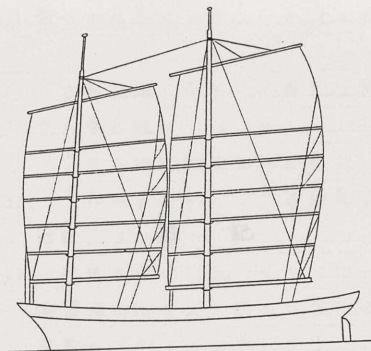
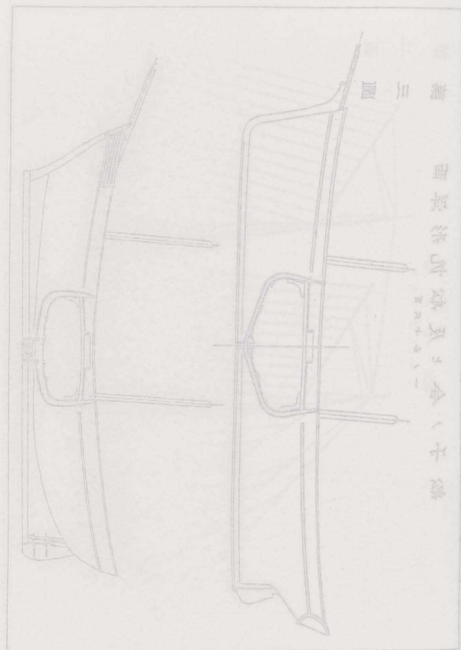


図5-13 神子帆を具備した西の舟形船（「石中集」の「明使初到」に於ける海軍史の史料（2））（『海軍史研究』第63号、1966年）